



インターネットでの情報提供	
提供予定日	2月20日

平成22年2月19日 県政記者クラブ・都道府県記者クラブ・岐阜経済記者クラブ同時配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
商工労働部モノづくり振興課	モノづくり・デザイン担当	川西 和彦	直通 058-272-8362・内線 3097
(財)岐阜県産業経済振興センター	デザインセンター	加藤 和也	058-277-1081
檜創建(株)	代表取締役社長	小栗 幹大	0573-75-5400

デザインセンターオリベ想創塾事業・^{ひのきそうけん}檜創建新商品開発プロジェクト

～新デザインのバスタブ・システムバスの展示会出展のご案内～

県及び県産業経済振興センター・デザインセンターにおいては、県内の地場産業の振興のため、地元メーカーとデザイナー等との連携を通じて新たな商品開発や販路開拓を行う「オリベ想創塾」事業を行っています。

このたび、今年度の同事業において商品開発支援を行った檜創建(株)の、新技術によるニュータイプの「バスタブ」と「システムバス」が完成し、2月23日から26日の間、東京ビッグサイトで開催される国内最大級の展示会「HOTERES JAPAN (国際ホテル・レストラン・ショー)」に出展することになりましたのでご案内します。

記

1 展示会の概要

(1) 名称 第38回 HOTERES

JAPAN (国際ホテル・レストラン・ショー)

(2) 会期 平成22年2月23日(火)～26日(金) 10時～17時

(3) 会場 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1) <ブース番号: 東4ホール・B07>

(4) 出展者 檜創建(株)単独出展

※展示会の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.jma.or.jp/hcj/jp/index.html>

2 商品の概要

(1) 基本コンセプト

- ・浴槽や浴室空間にデザイン性を強く求めるホテル・旅館などのニーズに幅広く対応する。

(2) 商品概要

①バスタブ単体商品シリーズ「O-Bath」

- ・木製浴槽作りで培った独自の技術開発によって、丸型形状の浴槽デザインを顧客ニーズに応じて提供。
- ・R形状の浴槽に不可欠とされる金属の「タガ」を必要としない構造で、従来以上の品質と、檜の美しさを際立たせたデザイン展開が可能。
- ・代表モデルとして今回開発した2タイプ(O-Bath(D)、O-Bath(M))は、檜の素材が持つ純和風なテイストを、洋風にも馴染むモダンなデザインでまとめたことが特徴。

②システムバスシリーズ「HINOKI SUITE」

- ・キット化された製品であるため、圧倒的な工期短縮を実現。

- ・ロケーションのイメージや、サービスのコンセプトに合わせたデザインやシステムの設計が可能。
- ・代表モデルとして今回開発したシステムは、内装に檜材の他に天然石を採用する等、純和風なイメージを抑えた、モダンなデザイン仕上げ。更に、大きな開放部分は高級感と自然が織りなす非日常空間を演出しており、シニアや富裕層、外国人にもフィットするのが特徴。

3 檜創建プロジェクトについて

(1) 概要

- ・檜創建（株）は、木曽檜を使った浴槽及び浴室関連商品を業務用（ホテル・旅館等）、福祉介護施設、及び一般住宅向けに製作しているが、取引先の多くが建設業者であるため、エンドユーザーのニーズに対応した商品開発能力が低く、また他の檜風呂メーカーとの差別化が不十分であった。
- ・県産業経済振興センター・デザインセンターが実施する実践的な商品開発支援事業「オリベ想創塾」への参加を通じて、市場における企業のポジション確認や現有技術の分析、市場のニーズ把握、商品企画の手法等について学んだ。また檜の素材が持つ純和風なテイストを洋風にも馴染みやすい新しいデザインの浴槽を開発することで、浴槽だけでなく浴室空間を提案できる檜風呂メーカーとしての企業ブランドを構築した。

(2) プロジェクト参加者

①メーカー：檜創建(株)

②デザイナー

川上元美：1940年生まれ。66年東京芸術大学院修了。アンジェロ・マンジャロロッチェ建築設計事務所（ミラノ）勤務を経て、71年川上デザインルーム設立。東京芸術大学、多摩美術大学、金沢芸術工芸大学、神戸芸術工科大学などの客員教授を歴任。プロダクトデザイン、インテリアデザイン、環境デザイン等を手がけ、各地の地場産業の活性化事業や地方人材育成事業に協力している。

③プランナー

梅津隆之：1957年生まれ。多摩美術大学彫刻科卒。（財）日本産業デザイン振興会にて、「Design News」編集、地域デザイン開発育成事業、デザイナーデータベースの作成、「デザインの日」設立参画、「グッドデザイン賞」事業等に従事。退職後、国内外のデザイナーズプロダクトを集めたセレクトショップを開設（2001～07年）。販売経験を生かし、産地企業とデザイナーのコーディネーション業務を行う。主に、商品企画、コンセプトメイキング、販売戦略などの一連の商品開発プログラムを手掛ける。

堀内陽子：1984年京都工芸繊維大学工芸学部意匠工芸学科卒。カシオ計算機(株)にてデザイン開発に携わった後、日産自動車(株)にてインテリアデザイン開発及びユニバーサルデザイン推進に従事。08年よりフリーランスデザイナーとして活動をするとともに、国際ユニバーサルデザイン協議会にてユニバーサルデザインの普及と実現に向け活動中。

4 「オリベ想創塾」事業について

(1) 目的

- ・実践的なデザイン商品開発を通じて、地場産品のブランド育成と企業内の人材育成を支援。

(2) 概要

- ・県内各企業及び産地グループと、県産業経済振興センター・デザインセンターがプロジェクトチームを結成し、プロジェクトの目的を設定したうえで、専門家（プランナー・デザイナー）がサポートに加わり、約6～9ヶ月にわたる「商品開発講座」を実施するもの。
- ・平成21年度は同プロジェクトの他に「セラメッセプロジェクト」、「駄知産地プロジェクト」を実施。